

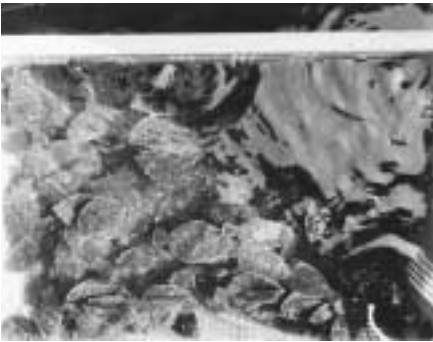
一般質問

公平な行政サービスを!!

小田 貞利 議員

問 旧四町では、町で借りあげる^{よう}備船料や使用料が、まちまちであったが、新町になりそれらの調整は整い公平に統一されたか。

答 (総務部長) 水産課における備船料は統一しているが、その他の取り扱いについては、すべて整ったとは言えず、今年度予算の中で、可能な限り、調整していきたい。



ひらめ、中間育成の成果

問 種苗の中間育成に対する町の補助金が、予算計上されている所とそうでない所があるが、平等に予算計



上されるべきではないか。

答 (農業建設部長) 合併間もない時期の予算編成となったため本年度については、経過的な措置として前年実施状況を踏まえ作成した。不十分

な点多々あると思うので、今後必要な改善を行っていくべきと考えている。

問 合併し、総合支所の役割が非常に重要となったが、その役割分担は明確にされているか。また総合支所の担当職員は、その役割を良く理解し、予算を執行し、住民のニーズに応えられているか。

答 (町長) 合併後定期的に、総合支所会議を開催し住民からの要請に対応できるよう調整会議をしている。総合支所の予算についても、当初とまどいがあったが徐々に理解し、対応している。

「構造改革特区」で農業振興を!!

杉山 藤雄 議員

問 本町の農業振興を図るには、本町の特殊性を生かした独自の対策が必要と思われます。そのためには、いろいろな規制緩和が受けられる「構造改革特区」の認定が不可欠であり、急務であると考えます。

「構造改革特区」の導入をどのように考えていますか具体的に説明をお願いします。

答 (町長) 本年3月、政府は新たな情勢の変化を踏まえて、12年3月に策定された基本計画を見直し、今後重点的に取り組むべき課題や施策を明らかにする「食料、農業、農村基本計画」を策定した。

町としては、この計画に基づき積極的に農業振興に取り組んで参りたいと考えている。

3月議会において「構造改革特区」の取り組



みについては、県と協議を行いながら総合的に検討することを回答している。その後、県と協議を行い近々に農業分野を含め、各分野についても打ち合わせ会を行うようにしている。

(意見) やる気のある地域には規制を緩和して新規事業を進めていくのが「構造改革特区」のねらいです。本町の農業は危機的な状態にまで追い込まれています。新しい発想で農業振興に取り組んでいただきたい。



捕獲されたカラス